



**VER**  
*Veris deus est Hibernia pulchra et vallis vallis  
 Pinguis sem Virens! Romaeque pulchra vallis  
 Pinguis sem non non Virens! Romaeque  
 Pinguis sem non non Virens! Romaeque*

**SPRING**  
 Here fare you well the Winter is quiet gone  
 and here's a quarter come so coming on  
 when a nature through wood to show his pride  
 was hardly a being the chief to see and hold



**AESTAS**  
*Letis, autis ZEPHYRUS caprimus auras,  
 Virensque regnum, Arvensis vallis, Agri  
 Coelestis, et lucis, et vallis, et vallis, et vallis  
 In vallis, et lucis, et vallis, et vallis, et vallis*

**SUMMER.**  
 In Summer when we walk to take the air  
 We thus are wald to keep our faces fair  
 And let our hearts be fill'd with love  
 we with our love, our hearts, and all the love



**HIEMIS**  
*Cum Lyonesse Hibernia pulchra et vallis vallis  
 Pinguis sem Virens! Romaeque pulchra vallis  
 Pinguis sem non non Virens! Romaeque  
 Pinguis sem non non Virens! Romaeque*

**WINTER.**  
 Thus against winter we our hearts do set  
 and think you show the cold can do us hurt  
 but though it be to hard for this alive  
 yet we'll overcome it with our hearts and live



**AUTUMNUS**  
*Conversio, et vallis, et vallis, et vallis, et vallis  
 In vallis, et lucis, et vallis, et vallis, et vallis  
 In vallis, et lucis, et vallis, et vallis, et vallis  
 In vallis, et lucis, et vallis, et vallis, et vallis*

**AUTUMN.**  
 One eye and Green now come both together  
 Autumn brings forth, but Autumn brings  
 here but the first that let you to take us down  
 except attend like mine, you kept it out

ヴェンツェル・ホラー 四季—四分の三半身の女性像 1641年

# ゆく河の流れ

“Incessant is the change of water”  
 —Works from the Collection

—美術と旅と物語

2012  
 10|27(土)→12|24(月)祝

休館日：月曜日（ただし12月24日は開館） 開館時間：午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
 観覧料：一般：700(600)円/大高生：400(300)円/中学生以下無料 \* ( )内は20名以上の団体料金 \* 11月3日(土・祝)は入館無料  
 主催：栃木県立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会 特別協力：全国美術館会議（東日本大震災復興対策事業）  
 協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、東武宇都宮百貨店 後援：朝日新聞宇都宮総局、NHK宇都宮放送局、エフエム栃木、  
 産経新聞社宇都宮支局、下野新聞社、とちぎテレビ、栃木放送、日本経済新聞社宇都宮支局、毎日新聞社宇都宮支局

●同時開催———〈特別展示〉高橋由一 10月27日(土)～12月24日(月・祝)

栃木県立美術館  
 TOCHIGI PREFECTURAL MUSEUM OF FINE ARTS

〒320-0043 宇都宮市桜4-2-7 電話028-621-3566  
<http://www.art.pref.tochigi.lg.jp>



# ゆく河の流れ

— 美術と旅と物語 —

"Incessant is the change of water."  
— Works from the Collection —

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」という一節にはじまる『方丈記』は、平安京を次々と襲った天災や社会の混乱を、鴨長明が冷静に見つめて描き出した文学の名作です。今なお多くの人々に愛され続けていますが、昨年の東日本大震災以来、時代を超えて、私たちによりいっそう深く響いてくるようになりました。

折しも今年も、『方丈記』が書かれて800年にあたります。これまで、歴史的にも『方丈記』に魅了された例は、数多く見出すことができます。文学では、明治時代に夏目漱石が『方丈記』を英訳したことや、堀田善衛が自身の戦争体験をもとに『方丈記私記』を執筆したことも、その好例といえましょう。大災害を経験した現在、新聞記事などで『方丈記』を参照したり、引用したりする例が増えました。再び、『方丈記』とそこに描かれた世界観が、急速に身近に感じられるようになった時代といえます。古くから天災に繰り返され襲われてきたこの国にあって、歴史に学ぼうとする姿勢が顕著になったともいえるでしょう。

本展は、『方丈記』を出発点として、文学と美術、時の流れ、芸術家の旅などをテーマに、約100点を展覧するものです。まずは、柄澤齊の版画集『方丈記』を皮切りに、挿絵本などによって文学と美術の世界を紹介します。

『方丈記』のもう一つの特徴は、いわゆる五大災厄の記録が、鴨長明自身の前半生と重ね合わせながら叙述されていることでしょう。変転する人生と変化していく社会の事象とが織りなされ、社会も人の生涯も「ゆく河の流れ」のように流転していきます。

そこで「芸術家の旅」として、清水登之《ニューヨーク、夜のチャイナタウン》等の滞米期の絵画や、川島理一郎の滞欧期の《絵日記》、川上澄生《アラスカ物語》など、芸術家たちの創作に大きく影響することになった青年時代の旅に焦点を当てます。また石川寒巖の東京滞在と震災体験や、荒井寛方のタゴールとの交遊から生まれたスケッチ類なども紹介します。

これらのさまざまな芸術作品をとおして、私たちが生きる「現在」を見つめ直す機会となれば幸いです。

- ① クロード・モネ サン=タドレスの海岸 1864年
- ② ギュスターヴ・ドレ J.ミルトン『失楽園』挿絵(初版1866年)
- ③ 刑部人 水門 1949年
- ④ J.-J.グランヴィル T.ドゥロー『もう一つの世界』1844年
- ⑤ 柄澤齊『方丈記』1993-94年
- ⑥ 小杉未醒 アルハンブラの丘 1913年
- ⑦ 板東敏雄 風景
- ⑧ 清水登之 水辺のふたり 1925年頃



①



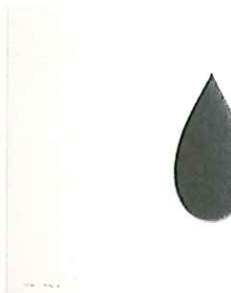
②



③



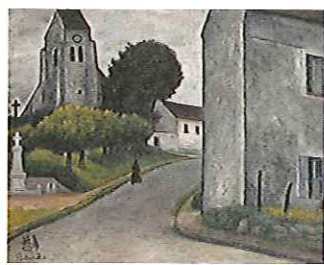
④



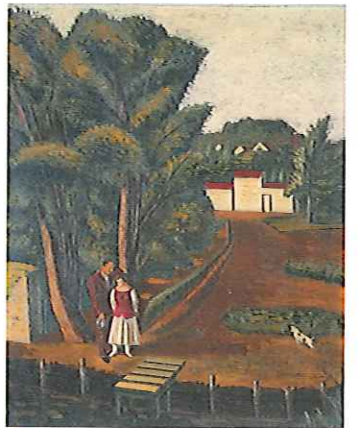
⑤



⑥



⑦



⑧

## 交通案内

- ・JR宇都宮駅・東武宇都宮駅前から関東バス【作新学院・駒生行】、またはJRバス【作新学院・JR車庫行】で約15分 桜通十字バス停下車約2分
- ・東北自動車道【鹿沼IC】から約15分【宇都宮IC】から約20分
- ・北関東自動車道【壬生IC】から約25分



## ◎関連企画

### 1——講演会

- ①「季節感を作り出すもの——絵の中の四季」  
講師：松井貴子(宇都宮大学教授)  
日時：11月11日(日)午後2時～＊聴講無料
- ②「岡倉天心と六角堂の思想——復興の過程で見えてきたこと」  
講師：小泉晋弥(茨城大学教授・五浦美術文化研究所副所長)  
日時：12月9日(日)午後2時～＊聴講無料

### 2——ギャラリー・トーク《ゆく河の流れ》展担当学芸員による

- 10月27日(土)午後3時30分～
- 11月24日(土)、12月8日(土)午後2時～
- ＊企画展観覧料が必要

## ＜コレクション展Ⅲ＞

### ミュージアムズ・チョイス：清水登之《パリ夜街》1926年

- 10月27日(土)～2013年1月14日(月・祝)
- ＊年末年始の休館 12月25日(火)～2013年1月4日(金)

## ◎同時開催

### ＜特別展示＞高橋由一

- 10月27日(土)～12月24日(月・祝)
- 1) 高橋由一関連 講演会  
①講師：古田亮(東京藝術大学准教授)  
日時：11月17日(土)午後2時～＊聴講無料  
②講師：金井忠夫(那須野が原博物館館長)  
日時：11月23日(金・祝)午後2時～＊聴講無料
- 2) 高橋由一関連 ギャラリー・トーク  
10月27日(土)午後3時30分～  
11月4日(日)、12月2日(日)午後2時～  
＊企画展観覧料が必要

## ◎宇都宮美術館のご案内

- マックス・エルンストーフィギュア×スケープ
- 10月28日(日)～12月16日(日)
- 宇都宮市長岡町1077 Tel.028-643-0100